

令和5年度進捗状況と評価

成果指標	記載頁	単位	R5	R8目標	達成度	評価
くまもとグリーン農業「生産宣言者」数	29	件	1,376	1,300	105.8%	当該年度達成
くまもとグリーン農業「応援宣言者」数	29	件	961	1,500	64.1%	若干増加し順調に推移しているが、大幅な増加は難しい状況にある。
エコファーマー登録者数	29	経営体	567	400	141.8%	当該年度達成
食育指導人数（各学校給食センター合計）	30	人	3,989	4,000	99.7%	若干減少したが計画的に推移している。
食生活改善推進員数	30	人	101	150	67.3%	会員の高齢化を背景に減少傾向にあるため、今後も引き続き会員数の増加に向けて食生活改善推進員養成講座などを実施していく。
食生活改善推進員地域活動回数	30	回	779	1,800	43.3%	アフターコロナ時代に移行し活動等も徐々に戻りつつある反面、会員減少が進み活動回数が減少している状況である。今後は、目標達成に向け活動休止している校区の復活や個々の対話・訪問などに力を入れていく。
食育講演会参加者数	30	人	130	300	43.3%	たまな健康食育フェアを開催し、市民への食育、健康づくりの啓発活動を行ったが目標達成には至らなかった。今後も引き続きイベント会場の開催規模を拡大し来客を見込むなど、目標達成に向けて取り組んでいく。
食生活改善推進員協議会加入者	30	人	101	148	68.2%	年々減少傾向にあるが、今後は会員向けに調理実習などを開催しながら会員相互の交流を図るとともに、4年間休講していた養成講座を開催し、会員の新規加入に繋げていく。
市内小中学校給食の熊本県産農産物の使用率(学校給食自給率)	30	%	56.5	65	86.9%	若干増加したが、今後も目標達成に向けて引き続き市内の農産物生産者に対して給食用物資納入業者登録制度について周知を図るとともに、玉名圏域定住自立圏における地産地消の取り組みを利用していく。
玉名産農産物を取り扱う店舗数（直売所や産直コーナーなど）	32	店舗	15	15	100.0%	当該年度達成
新規就農人数	34	人/年	9	10	90.0%	年度毎に増加数に差があるが、順調に増加している。
認定農業者数	34	人	915	900	101.7%	当該年度達成
集落営農・法人数	34	法人	93	90	103.3%	当該年度達成
認定農家者SNS配信登録者数	34	人	451	550	82.0%	順調に推移している。
担い手（認定農業者）に集積された農地面積の割合	36	%	82.8	80	103.5%	当該年度達成
主要農産物の経営面積（温州みかん）	36	a	93,364	98,000	-	農林業センサスによる数値のため、未評価
主要農産物の経営面積（イチゴ）	36	a	8,420	9,800	-	農林業センサスによる数値のため、未評価
主要農産物の経営面積（トマト）	36	a	26,282	22,000	-	農林業センサスによる数値のため、未評価
6次産業推奨品数	38	品	12	23	52.2%	6次産業推進事業の廃止に伴い推奨品数が減少しているが、今後も引き続き他の物産品とともに一体的に支援を行っていく。
耕作放棄地解消面積	41	ha/年	0.8	2.00	40.0%	耕作放棄地解消へ4戸の農家が行われた。
多面的機能支払交付金事業 農地保全活動延べ日数	41	日/年	1,382	1,620	85.3%	取組み団体の解散に伴い実績値が減少したが、今後も引き続き目標達成に向けて、新規団体の立ち上げを支援していく。
傾斜農用地耕作面積	41	m ²	825,624	735,000	112.3%	当該年度達成
着地型旅行商品の開発数	43	本	10	15	66.7%	コロナ禍の中、感染症対策が難しいことや人手不足に伴い受入れができないことなどの理由を背景に商品数が減少したが、今後も引き続き民間と連携して持続可能な商品開発を進めていく。
都市との交流イベントの開催数	43	回/年	4	5	80.0%	計画的に取り組んでいるが、イベント開催回数の減少に伴い未達成となった。